

診療科	血液内科	管理番号	
レジメン名称	E-Ld療法		
対象疾患・ステージ・適応外の有無等	再発又は難治性の多発性骨髄腫患者		
本治療の位置づけ	セカンドライン以降にレナリドミドとデキサメタゾンとの併用で使用する。		

治療内容	投与順	薬剤	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール								
						1日目	8日目	15日目	22日目	日目	日目	週目	週目	
		デキサメタゾン錠4mg	28mg		経口	●	●	●	●	1~2cycle				
		(エロツズマブ投与の3~24時間前)				●		●		3cycle以降				
		デキサメタゾン錠4mg	40mg		経口		●		●	3cycle以降				
		ジフェンヒドラミン錠	50mg		経口	●	●	●	●	1~2cycle				
						●		●		3cycle以降				
			アセトアミノフェン錠	400mg		経口	●	●	●	●	1~2cycle			
							●		●		3cycle以降			
		Rp1	デキサメタゾン注6.6mg	6.6mg			●	●	●	●	1~2cycle			
			生理食塩液	50mL	15分	点滴静注	●		●		3cycle以降			
			(エロツズマブ投与の45分前まで)											
		Rp2	ファモチジン注20mg	1A			●	●	●	●	1~2cycle			
			生理食塩液	50mL	15分	点滴静注	●		●		3cycle以降			
		Rp3	生理食塩液	100mL	30分	点滴静注	●	●	●	●	1~2cycle			
							●		●		3cycle以降			
		Rp4	エロツズマブ注	10mg/kg			●	●	●	●	1~2cycle			
			注射用水				●		●		3cycle以降			
		エロツズマブ300mgの場合13mL、400mgの場合17mLで溶解する												
		生理食塩液	230mL											
1サイクル期間	28日間													
(併用薬)プレメディケーション	infusion reactionを軽減させるために、本剤の投与前に抗ヒスタミン剤(ジフェンヒドラミン等)、H2受容体拮抗剤(ラニチジン等)および解熱鎮痛剤(アセトアミノフェン等)を投与する。本剤と併用するデキサメタゾンは、経口投与(28mgを本剤投与の3~24時間前に投与)と静脈内投与(8mgを本剤投与の45分前までに投与完了)に分割して投与すること。													